

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
無理のない自然な声の出方で歌おう 「校歌」	1	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現する	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 基本的な奏法を身につけよう 「ギター」 「アルトリコーダー」	7	基礎的な奏法を身につけて表現する。	楽器の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための運指などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(楽器の音色と奏法との関わり)や技能(運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲にふさわしい発声で歌おう 「合唱コンクールの曲」	7	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
工夫して表現しよう 「リズムアンサンブル」	2	音符の長さ、強弱記号を理解つける。 創意工夫を生かした表現で演奏するための技能を身に付ける。	音符の長さ、強弱記号を理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための技能を身に付けている。	表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞 オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう 「小フーガ ト短調」 「音楽鑑賞教室の内容」 「交響曲第5番」 「ボレロ」 「春の祭典」 雅楽の多様な表現を鑑賞しよう 「越天楽」	12	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 我が国や郷土の伝統音楽の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。	曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。 雅楽の音楽的な特徴と、その背景からなる文化や歴史との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 鑑賞に関わる知識(雅楽の音楽の特徴と、その背景からなる文化や歴史との関わりについて)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲の形式を生かして歌おう 「浜辺の歌」 「花の街」 「早春賦」	6	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。